



移動ができる菜園ハウスシリーズ

MGH-2740Light 部材一覧

保管
【2402】

製品寸法 (約外寸) 間口：約 2.75m 奥行：約 4m 高さ：約 2.18m

*本製品のお買い上げ、ありがとうございます。

組立て作業前に、部材表、部材表裏の『安全上のご注意』をご確認ください。*

A ケース					B ケース				
No	品名	規格	数量	形状	No	品名	規格	数量	形状
①	アーチ用パイプ	19φ×175TTL cm	10		⑳	脚用パイプ	19φ×142TT cm	10	
②	扉上下用パイプ	25φ×93 cm	2		㉑	前後ベース用 中間用パイプ①	19φ×142TT cm	3	
③	樹脂ジョイント	BJ05	4		㉒	前後ベース用 中間用パイプ②	19φ×128TT cm	3	
④	樹脂ジョイント	BJ06	4		㉓	奥行き用 パイプ	19φ×97TT cm	20	
⑤	樹脂ジョイント	BJ07	6		㉔	縦用Sパイプ	19φ×138S cm	7	
⑥	樹脂ジョイント	BJ09	6		㉕	縦用パイプ①	19φ×71 cm	3	
⑦	樹脂ジョイント	BJ028	3		㉖	縦用パイプ②	19φ×36 cm	5	
⑧	樹脂ジョイント	BJ029	2		㉗	入口扉取付用 上下パイプ	19φ×180 cm	4	
⑨	パッカー	19用	42		㉘	前面 中間用パイプ	19φ×85 cm	3	
⑩	パッカー	25用	4		A: アーチ加工されています。 TT: 端末加工したパイプ				
⑪	ストレート ジョイント	19用	3		S: パイプ先が細くなっています。				
⑫	Wユニバーサル ジョイント	19×19	11		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>必要な 工具として</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 印を 付けるもの </div> <div style="text-align: center;"> 寸法を はかるもの </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 穴あけ機や、金てこ (地中の穴開け用) </div> <div style="text-align: center;"> (部品 取付け用) </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> ハンマー (部品取付け用) </div> <div style="text-align: center;"> はさみ (ビニール カットに) </div> <div style="text-align: center;"> 軍手など (作業時に) </div> </div> </div>				
⑬	新型Tバンド	19×19 蝶ナット	15						
⑭	新型Tバンド	25×19	4						
⑮	フックバンド1号	19×19/22兼用	2						
⑯	天幕ビニール	約 厚み 幅 長さ 0.1×4.0×5.4	1						
⑰	側幕ビニール	約 厚み 幅 長さ 0.1×1.85×14	1						
⑱	扉ビニール	約 厚み 幅 長さ 0.1×1.85×1	1						
㉙	U字杭	10mm×240mm	8						

NAN-CORPORATION 製造 販売 南榮工業株式会社

※張替用ビニールのお求めは、本製品をお買い求め
いただきました販売店様か、本製品をお取扱い
いただいております販売店様にお問合せください。



安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷*1を負う可能性が想定される内容」を示しています。

*1「重傷」とは、失明・けが、やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。置くだけの設置は絶対に行わないでください。

また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まっている場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置をしてください。

禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。このような場所には絶対に設置しないでください。

禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

禁止 危険物の貯蓄禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

禁止 換気にご注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

注意

この項目は「人が傷害*2を負う可能性が想定される内容や、物的傷害*3の発生が想定される内容」を示しています。

*2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが、やけど(高温・低温)・感電等を指します。

*3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、随時雪降ろし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行ってください。

注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらいついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったりシート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

注意 降雨後のお手入れ

雨が降った後などシートに水がたまったら場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。



移動ができる菜園ハウスシリーズ
MGH-2740Light

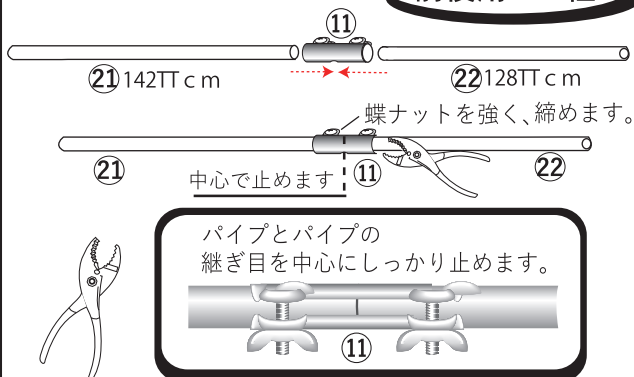
組立説明書

【2402】

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 正しく使用していただくことで、長持ちしますので、本品を組立てる前に部材表の裏面、『安全上のご注意』をお読みください。

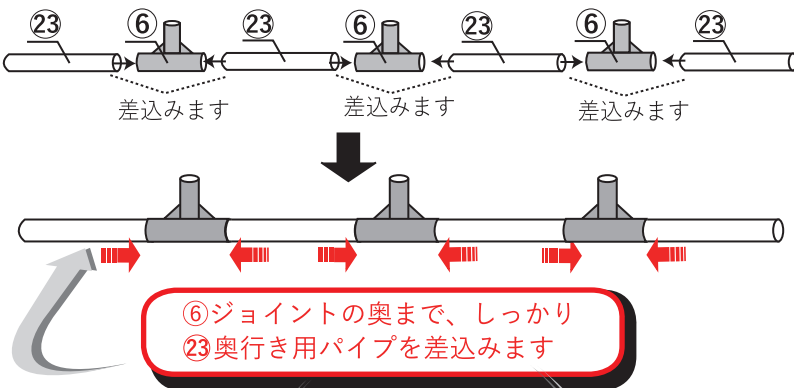
**1 前後ベース用パイプを2組、
後中間用パイプ1組を、組立てます**

前後用・3組



2 奥行き用パイプを2組、組立てます

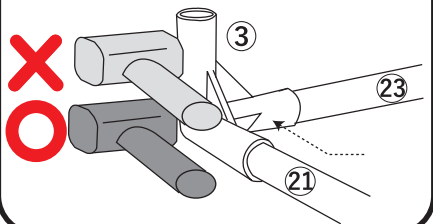
左右・2組



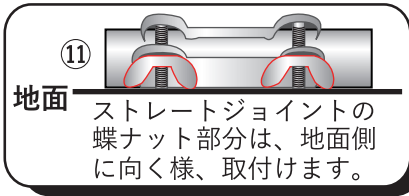
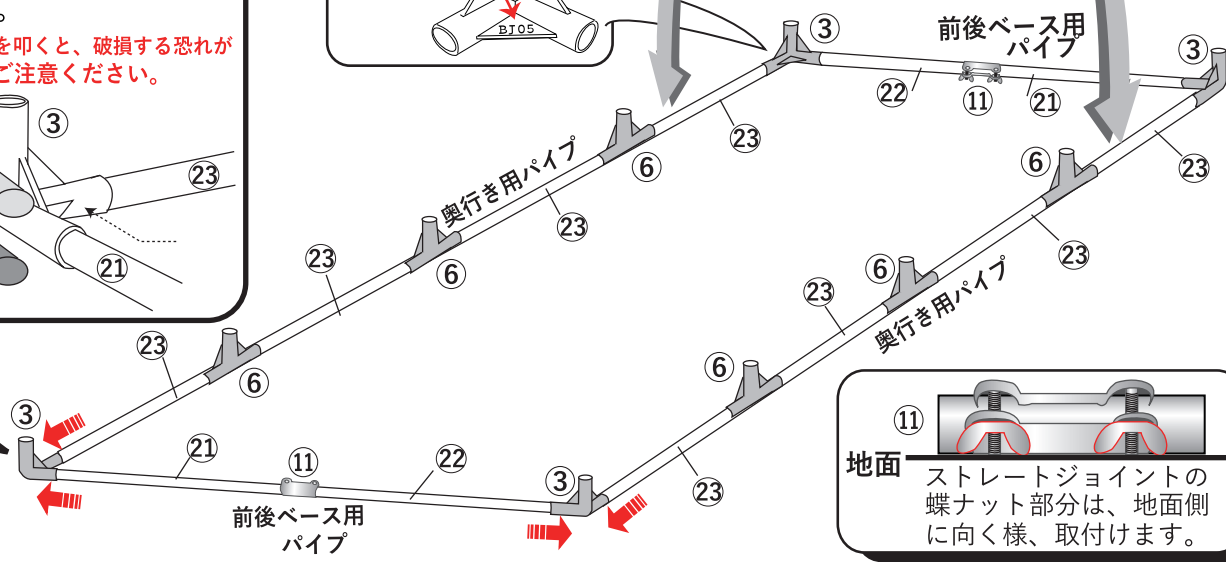
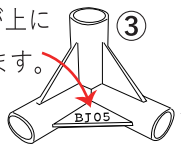
3 組立てた各ベース用パイプを、③ジョイントで組立てます

※ジョイントを各方面から、
軽く叩いて、パイプを奥まで
差込みます。

ジョイントの上部を叩くと、破損する恐れが
ありますので、ご注意ください。



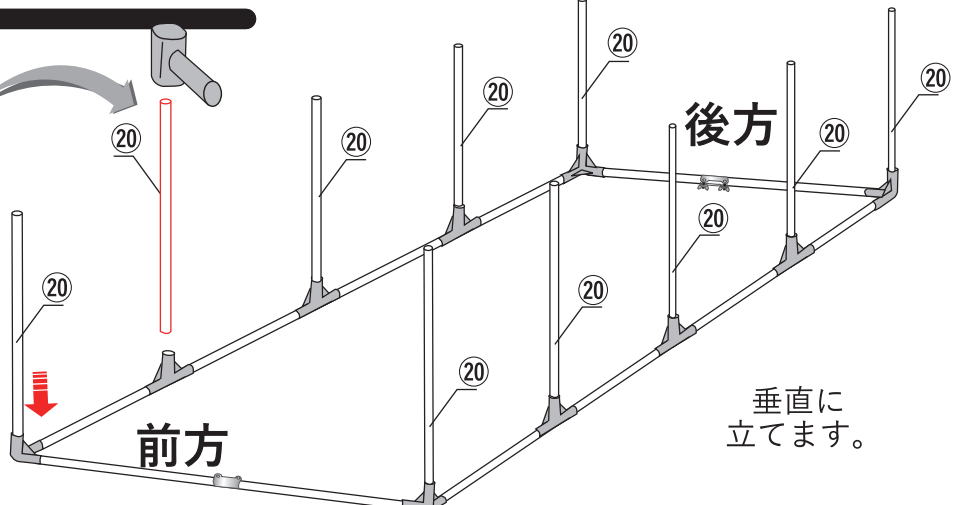
※刻印が上に
向きます。



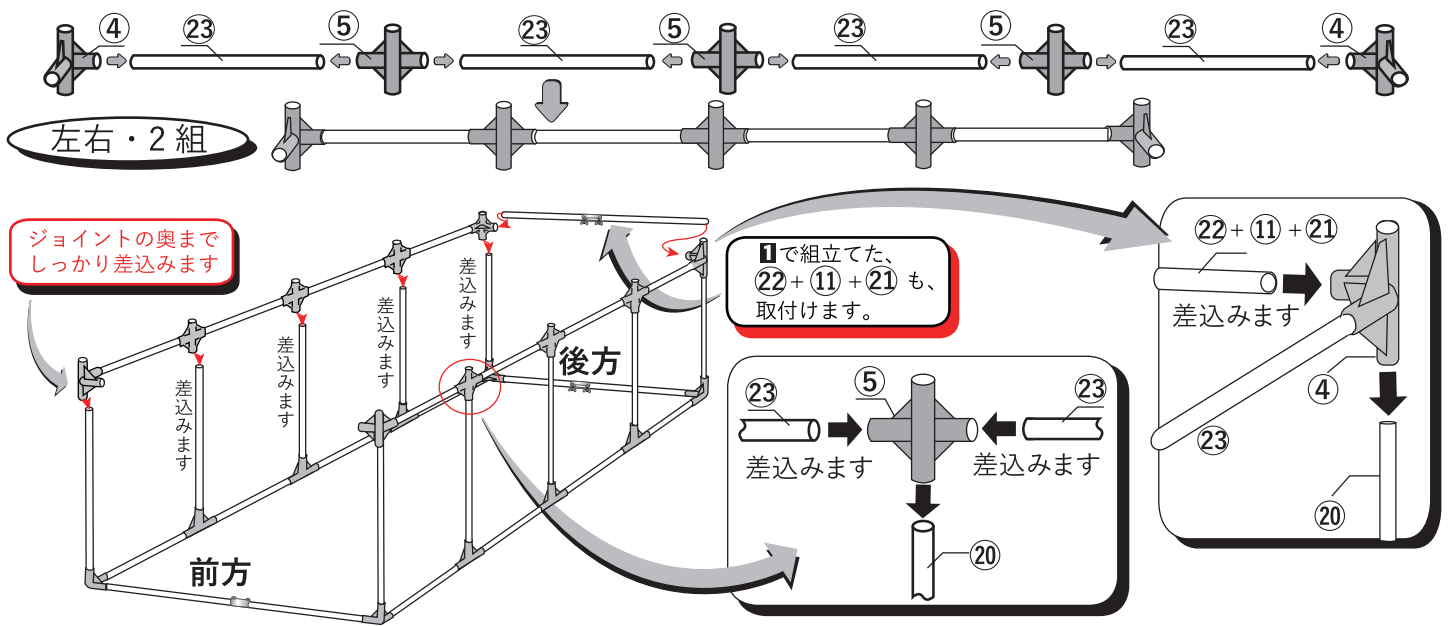
4 ②0脚用パイプを③⑥ジョイントに差込みます

パイプの先が潰れない
ように軽く叩いてください。

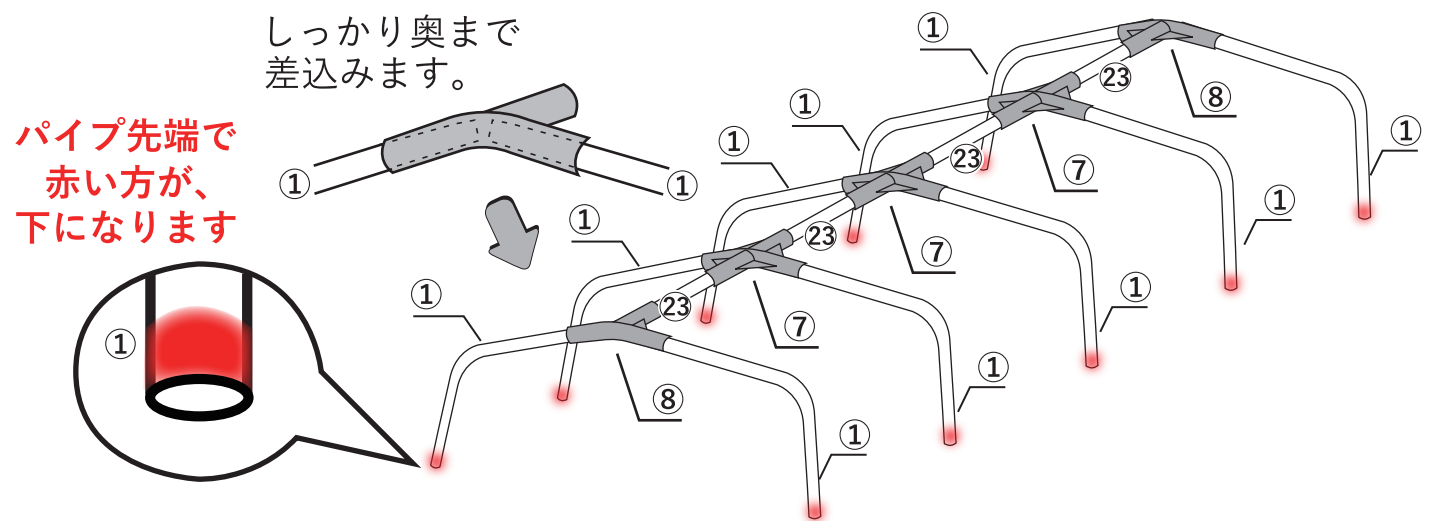
※ジョイントの奥まで、
パイプをしっかり差込みます。



5 各ジョイントと、**23**奥行き用パイプを組立て、**20**脚用パイプに差込みます

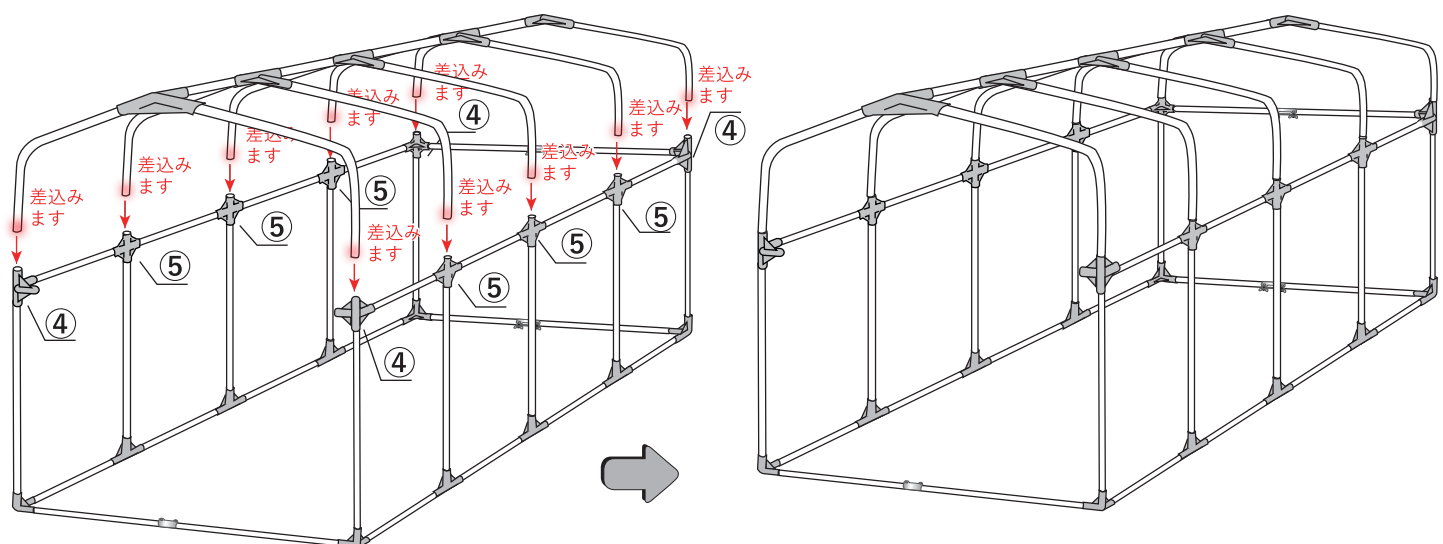


6 **1**アーチ用パイプ・**23**奥行き用パイプを、**7****8**ジョイントに差込み、天井部を組立てます



7 天井部を、**4****5**ジョイントに差込み、組立てます

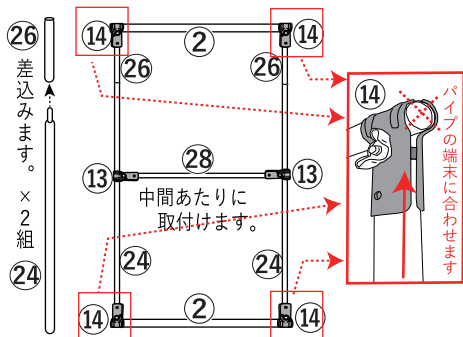
アーチパイプはしっかり、奥まで差込んでください。半端な差込みですと骨組の強度が落ちます。また、ジョイントに負荷がかかりやすくなり 破損の原因に繋がります。



※天井部、脚部は、アーチに張りを持たせるために、幅が広めになっています。内側に引き寄せる感じで差込んでください。

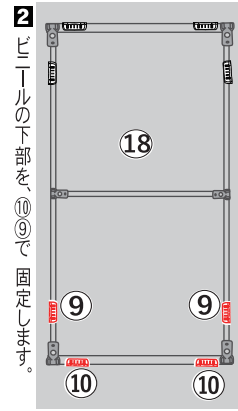
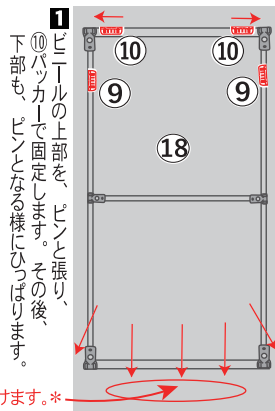
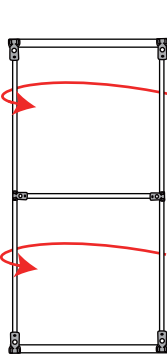
8 扉を組立てていきます。

1. ⑬⑭を使い、⑳㉔㉖㉘を取付けます。



2. ⑨⑩で、⑱を固定します。

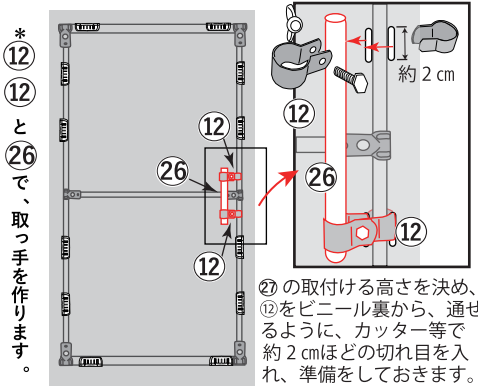
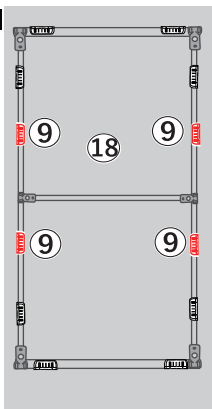
*各金具の蝶ナットが、裏側になる様に、扉骨組をひっくり返してください。



長めに、取付けます。

9 前面を組立てていきます。

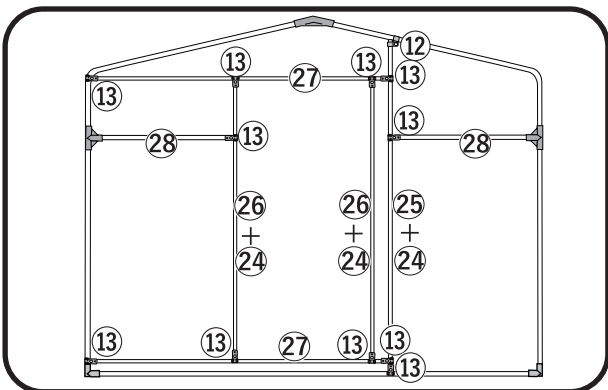
3 ビニールの左図の位置を固定します。



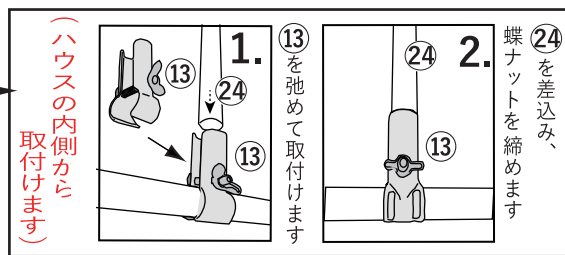
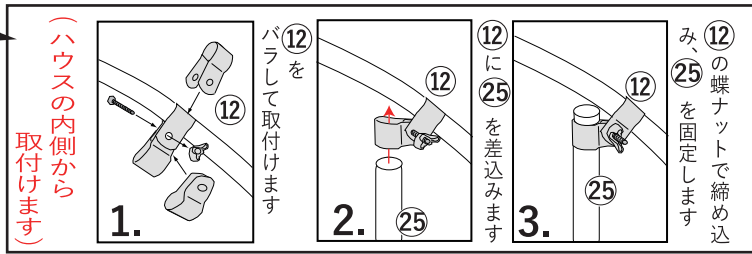
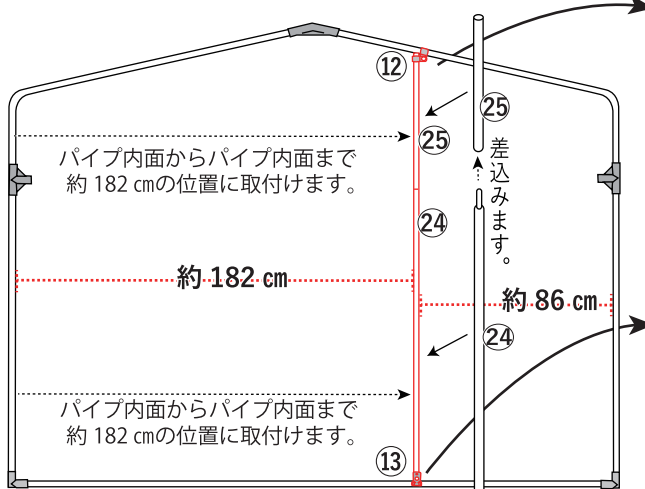
*⑫と⑳と⑳で、取っ手を作ります。

㉗の取付ける高さを決め、⑫をビニール裏から、通せるように、カッター等で約2cmほどの切れ目を入れ、準備しておきます。

9 前面を組立てていきます。



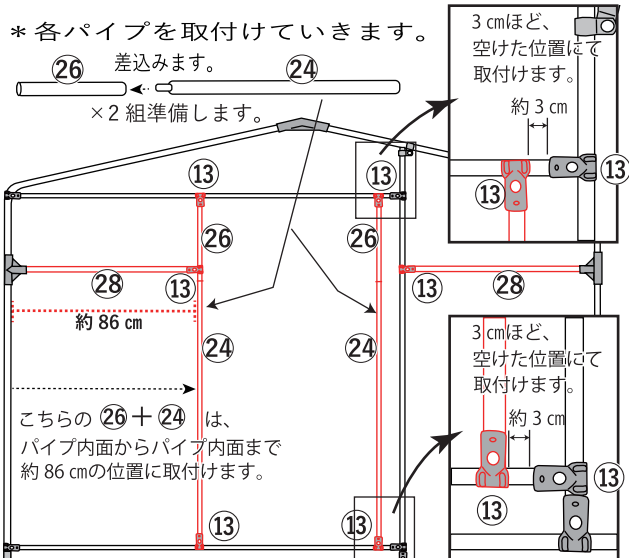
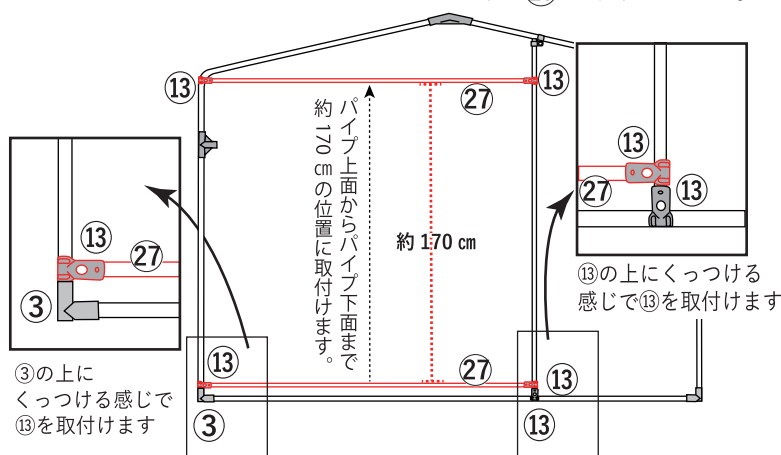
1. ⑫⑬を使い、⑳㉕を取付けます。



各金具の蝶ナットなどは、ハウスの内側に向くように取付けます。

2. ⑬を使い、各パイプを取付けます。

* 下部 ㉗を取付け、そこを基準に 上部 ㉗を取付けます。



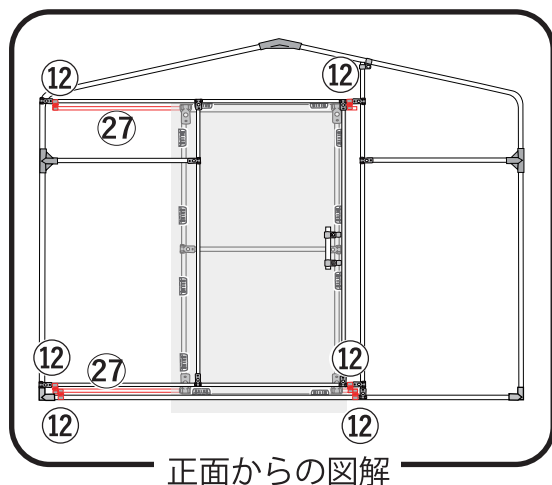
* 各パイプを取付けていきます。

⑳を差込みます。⑳を2組準備します。

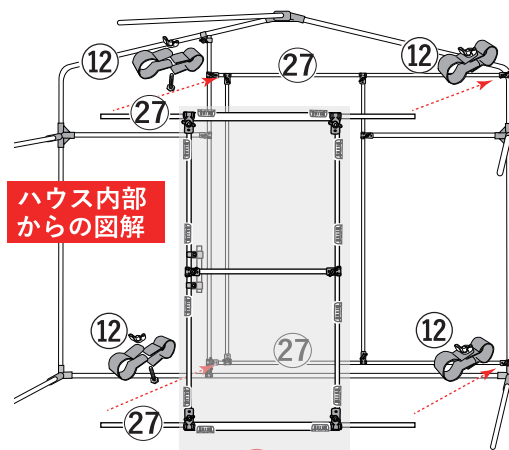
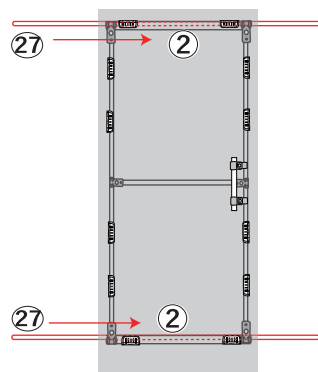
こちらの⑳+㉔は、パイプ内面からパイプ内面まで約86cmの位置に取付けます。

10 扉を取付けます

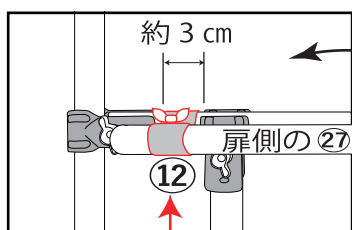
1. 扉を、ハウス内側から取付けます。



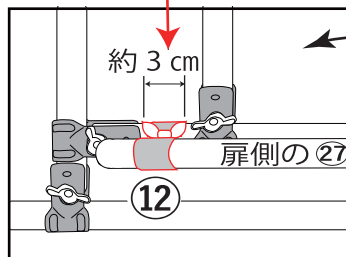
・上下の②25φ×93cmに②27を通します。



・本体上下の②27に、扉部の②27を同じ高さ、平行になるように①12で4ヶ所、固定します。

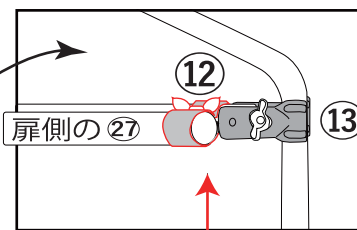


9で、組立てた際に設けた、3 cmの隙間に、①12を取付け、②27を、固定していきます。

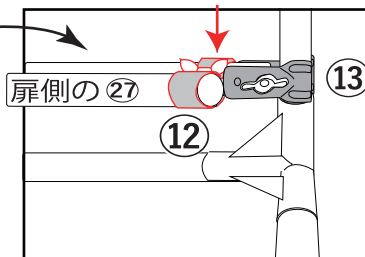


ハウス内部からの図解

・本体上下の②27に、扉部の②27を同じ高さ、平行になるように①12で4ヶ所、固定します。

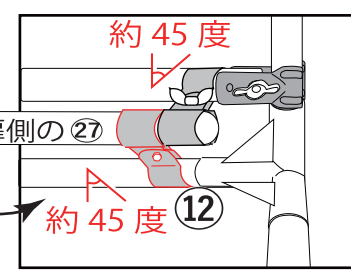
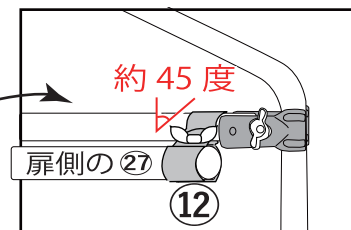
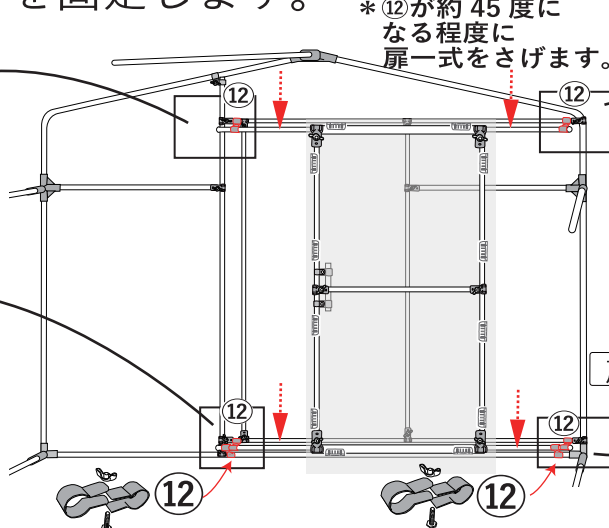
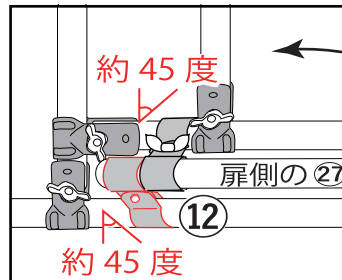
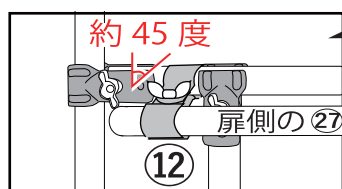


①13 Tバンドの真横に、②27を取付け、②27の頭を合わせる感じで、取付けてください。



2. ②27 レールパイプを固定します。

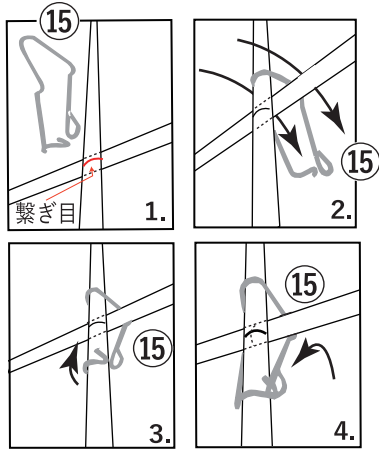
*①12が約45度になる程度に扉一式を下げます。



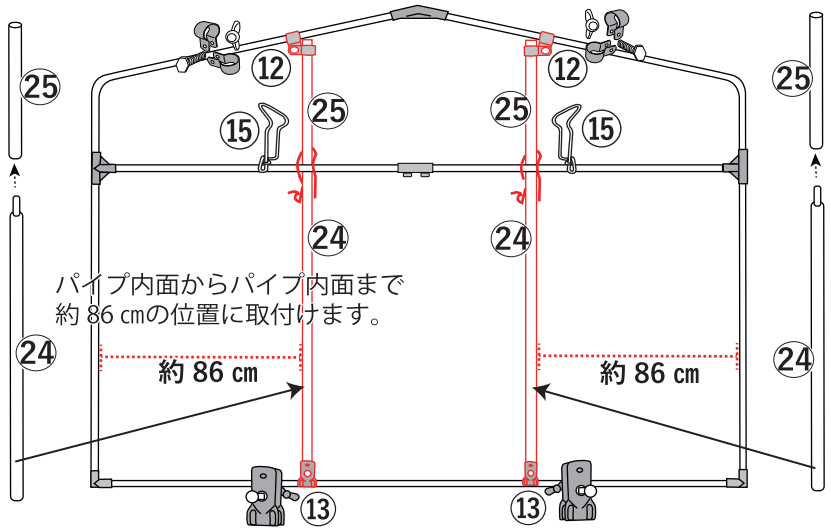
1. ①12で取付けた、扉側の ②27を、本体の ②27に比べ、全体的に、下約45度の位置に下げます。
2. 新たな①12にて、本体ベースパイプと、下げた扉側の ②27を繋ぎ止めて、固定します。

11 後面を組立てます。

* ⑮フックバンドの取付け方
(骨組内側からの図解になります)



・これまでと同じ手順で、後面の柱になるパイプを取付けてください



パイプ内面からパイプ内面まで約86 cmの位置に取付けます。

約86 cm

約86 cm

12 側幕ビニールを取付けます

* 骨組本体を⑰側幕ビニールで、囲うように張っていきます。*

パッカーの取付け方



⑨

片側から押し込んでいきます。

1. 仮止め

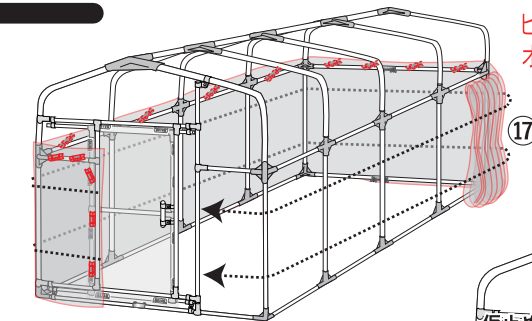
※片側だけ押し込んで、反片側が浮いた状態

2. 固定

※完全に、はまった状態

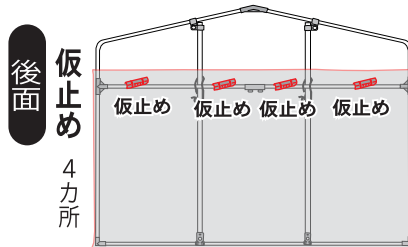
【取り外しは反対の作業になります】

* 仮止めは、天幕ビニールを張った際に、再度、固定しなおす為に、側幕を一時的に取付ける作業になります。

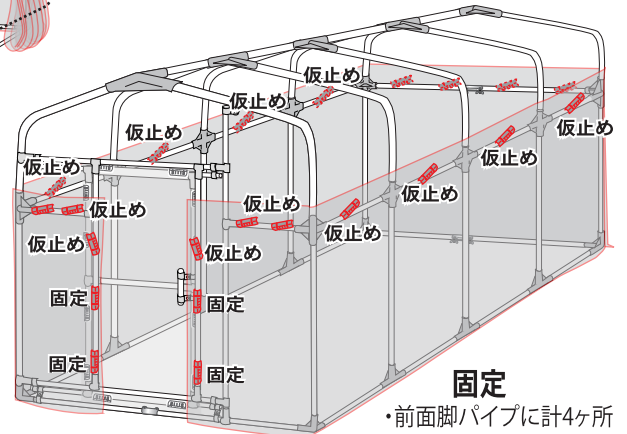


ビニールは記載の文字が、正しく読める面が、オモテ(表面)になります。

仮止め ・前面縦、横通しパイプ 左右 計6ヶ所
・左右横通しパイプ 各アーチ間8カ所



後面
仮止め
4カ所



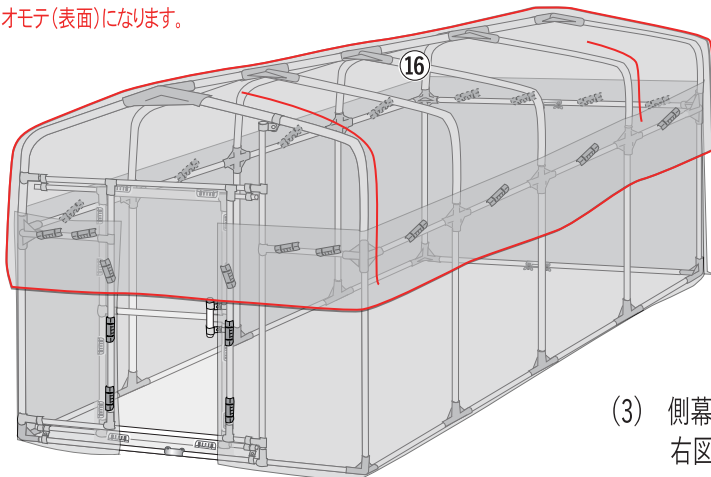
固定

・前面脚パイプに計4ヶ所

13 天幕ビニールを取付けます

(1) ⑰天幕ビニールを広げ、被せます

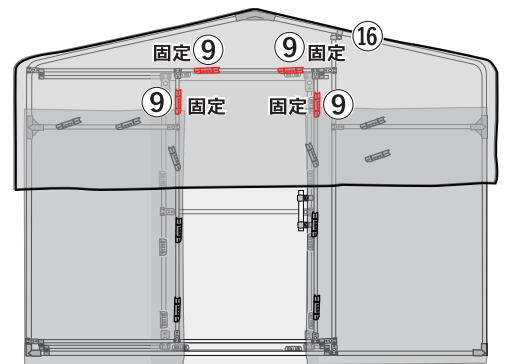
ビニールは記載の文字が、正しく読める面が、オモテ(表面)になります。



* ⑰天幕ビニールは、前後、左右均等になる様に、調整します。*

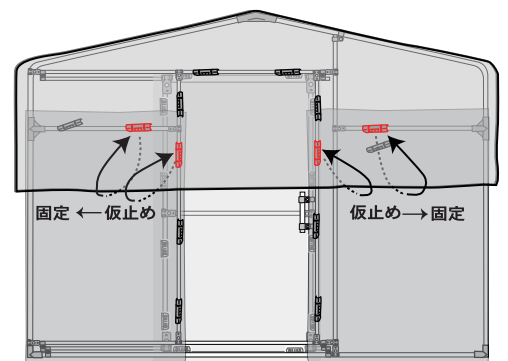
(2) ⑰天幕ビニールを、⑨で4カ所、固定していきます。

前面その①



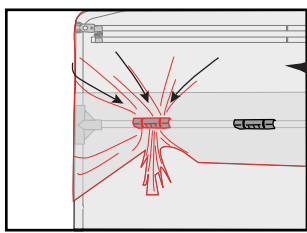
(3) 側幕の⑨仮止めパッカー右図の4ヶ所を外し、天幕の上から、下にある側幕ごと固定します。

前面その②

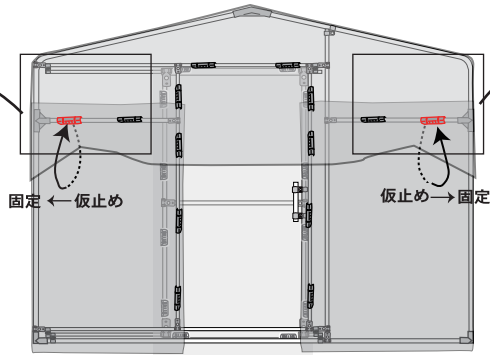


(3) 側幕の仮止め2個を外し、天幕の上から、側幕ごと固定します。

前面その③



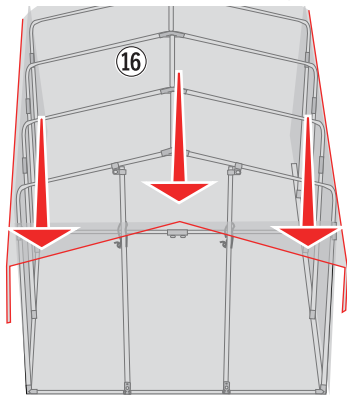
* 左外側の⑨仮止めパッカーを外し、天幕ビニールのたるみを引き寄せてまとめ、その上から、⑨で、奥側の側幕ビニールも一緒に固定します。



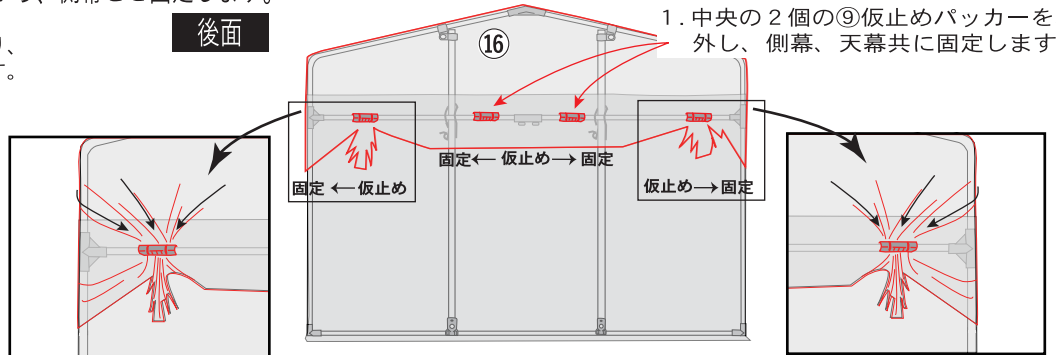
* 右外側の⑨仮止めパッカーを外し、天幕ビニールのたるみを引き寄せてまとめ、その上から、⑨で、奥側の側幕ビニールも一緒に固定します。

(4) 側幕の仮止めを外し、天幕の上から、側幕ごと固定します。

* ⑩を後面に、しっかり引っ張り、天井面の弛みを、取り除きます。



後面



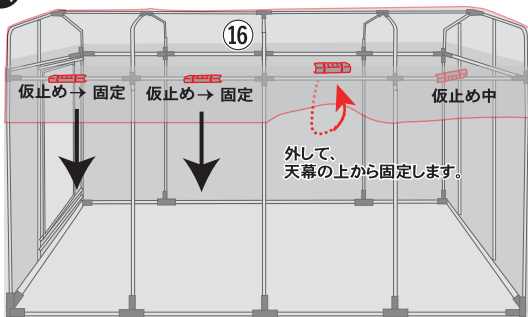
1. 中央の2個の⑨仮止めパッカーを外し、側幕、天幕共に固定します。

2. 左外側の⑨仮止めパッカーを外し、天幕ビニールのたるみを引き寄せてまとめ、その上から、⑨で、奥側の側幕ビニールも一緒に固定します。

2. 右外側の⑨仮止めパッカーを外し、天幕ビニールのたるみを引き寄せてまとめ、その上から、⑨で、奥側の側幕ビニールも一緒に固定します。

(5) 側幕の仮止めを外し、天幕の上から、側幕ごと固定します。

側面

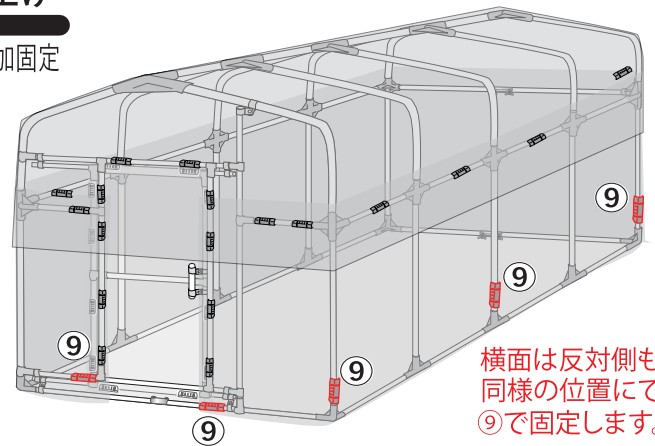


* ⑩を下に引っ張り、ビニールの弛みを、取りながら、⑨で固定していきます。

14 仕上げ

(1) 追加固定

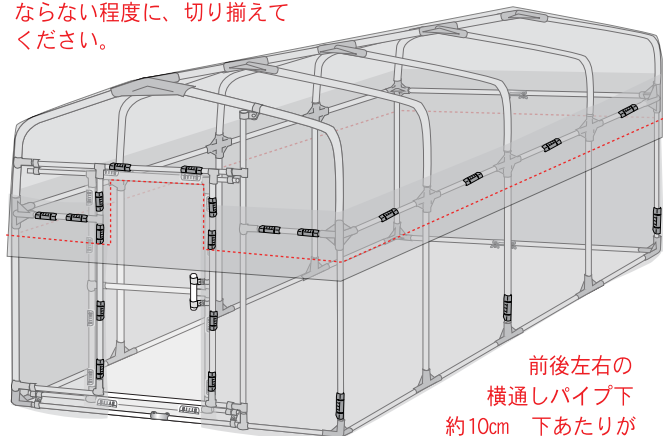
* ⑨を8個、固定の追加をします。



横面は反対側も同様の位置にて⑨で固定します。

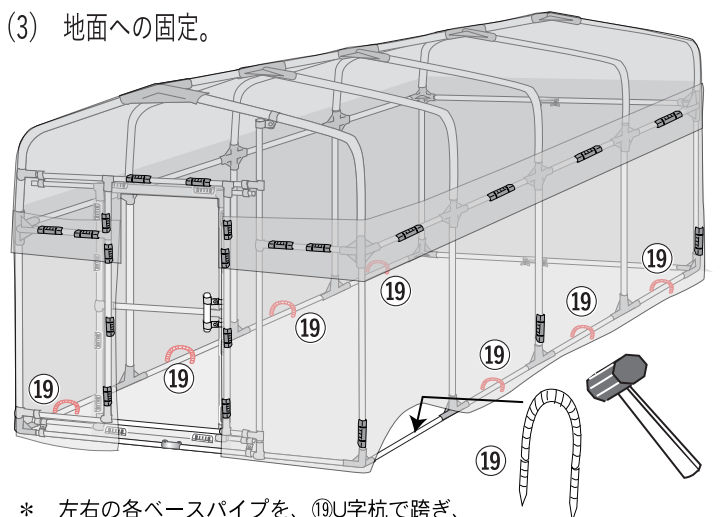
(2) 扉周囲、余分なビニールをカットします。

扉、扉周りは、開閉に邪魔にならない程度に、切り揃えてください。



前後左右の横通しパイプ下約10cm 下あたりがカットの目安です

(3) 地面への固定。



* 左右の各ベースパイプを、⑱U字杭で跨ぎ、地面に打ち込んで、固定していきます。